

# 地元業者への発注を増やし地域経済の振興を！

倒産件数・金額も急増—厳しい経営が強いられる建設業

昨年来の経済危機は、熊本の地域経済にも深刻な影響を与えています。下表は、業種ごとの倒産件数の推移です。あらゆる業種において厳しい経営が強いられていますが、とりわけ建設業においては倒産件数、金額においても深刻な状況で、地域業者の経営を支える施策が切望されています。



## 業種別の倒産件数の推移

	建設業	製造業	卸売業	小売業	不動産業
04年	26	6	8	6	1
05年	20	4	8	8	2
06年	22	2	5	16	2
07年	15	3	14	12	4
08年	37	5	15	11	6

右のグラフは、熊本市における公共事業（工事関係）の県内業者への発注額割合の推移です。グラフが示している通り、近年、県内業者への発注割合が減少しています。特に、建築に関しては、08年度は

マンション建設も含めた熊本駅前東A地区の再開発にかかわる契約があり、県内業者への契約額の割合は、約40%に激減しました。

学校施設・市営住宅・公共施設の修繕、生活道路の整備など

## 生活密着型の公共事業こそ 地元業者の仕事につながります

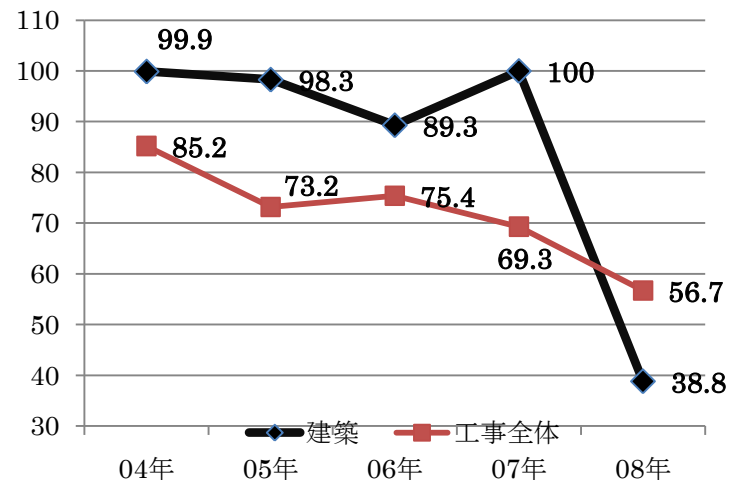
今、求められていることは、地域の中小零細業者の仕事につながる公共事業をすすめ、内需拡大で地域経済の振興を図ることです。

そのためにも、学校施設の維持・補修や、市営住宅や老朽化した公共施設の計画修繕、生活道路の整備など、生活に密着した公共事業を促進することが大切です。

景気低迷の時代に見合わない大型再開発をきっぱりと改め、地元業者の支援を今こそ強めるべきです。



## % 工事等の県内業者への契約額の割合



## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO 681

2009年10月18日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www5.ocn.ne.jp/~kumamsu/

# 保険証未交付4898世帯『いのち』に冷たい幸山市政

3月10日、益田牧子議員は、国保問題を中心に一般質問を行いました。無保険による死亡や重症化した事例を示し、幸山市長に「郵送による無保険状態の解消」「国保料の引き下げ」を求めました。

国保料は負担の限界  
払える保険料へ引き下げを!!

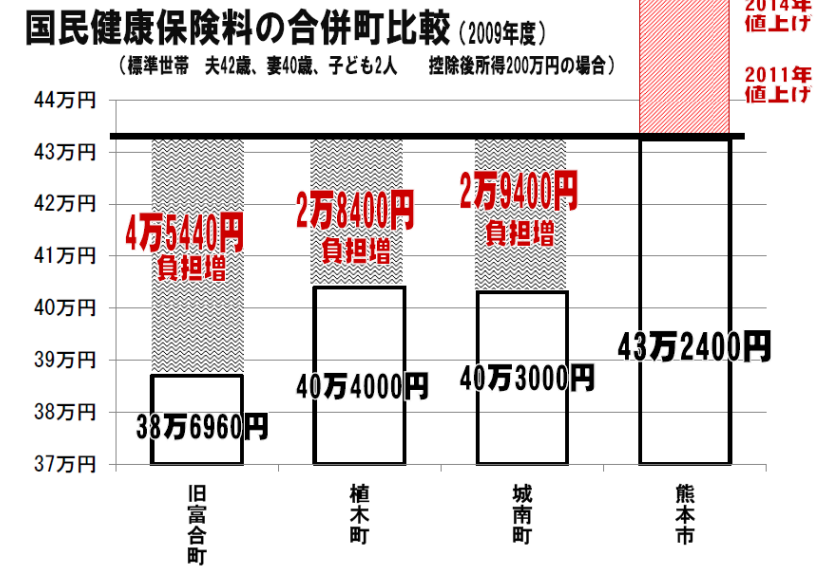
## 「いのちの絆」保険証を郵送し、無保険状態解消を!!

益田議員は、保険証は「命の絆」であり、国も、「短期保険証の窓口留置き」の長期化は、望ましくない」と指導している。

未交付の4898世帯に、郵送により、届けるべきだと追及。幸山市長は、「きめ細やかな対応に心がけ、出来るだけ速やかに手元に届ける」と答弁を繰り返す、郵送による無保険解消に否定的でした。

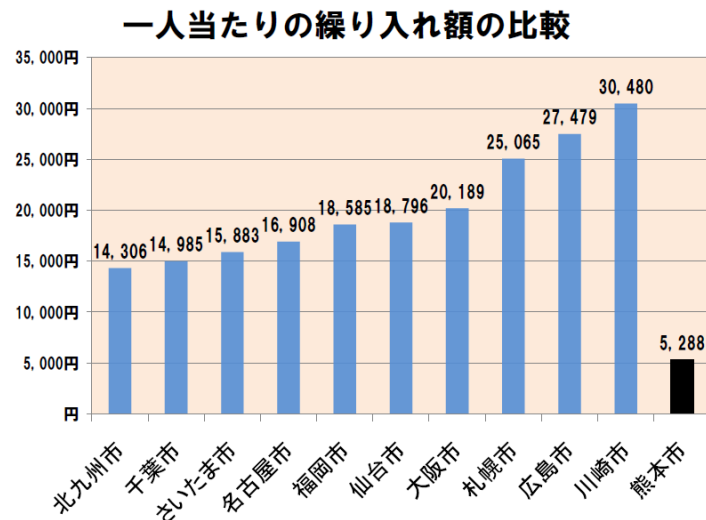
無保険による重症化、死亡例を出さな

いたためにも、保険証の全員交付は急務です。現に、広島市では、窓口での1ヶ月以上の短期保険証の留め置きは行わず、郵送により、届けられています。



## 政令市並みの一般会計の繰入を!!

(08年決算)



合併する植木町、城南町は、旧富合町と同じように、5年間かけて、高い熊本市の国保料に統合されます。(右上グラフ)合併の原則である『負担は低い方へ』に反します。日本共産党は、政令市並みの一般会計繰入を行い、国保料の引き下げを要求しています。

(控室から) 益田牧子  
生命尊重の政治を!

大澤豊監督の映画「いのちの山河」に深い感銘を受けました。岩手県内村の深沢村長と保健師など役場職員が、住民と共に、宿命とあきらめていた「豪雪、多病多死、貧困」の三悪に闘いを挑み、見事に克服。人間は皆平等で、人間のいのちに格差があつてはならないと「生命行政」を貫き、全国初の六〇歳以上と乳児の医療費無料化を実現。「法律違反」と妨害する県に対して、深沢村長は、「憲法二五条には違反しない」と実行を判断します。「健やかに生まれ、健やかに育ち、健やかに老いる」ために、「いつでも(二四時間、三六五日、生涯にわたって)学術の進歩に相応する最新・最高の包括医療サービスと文化的な健康生活を享受すること」を「対話と行脚」を通して実現した沢内村。

三月一〇日の一般質問では、「無保険状態で、医者に掛かるのが、救急車で運ばれたとき」という熊本市の現状を「許しておいてはならない」と、思いを込めました。